

みんなの「なんな一の?」を伝えるこども記者のための新聞



信毎こども記者ニュース

発行/連絡先

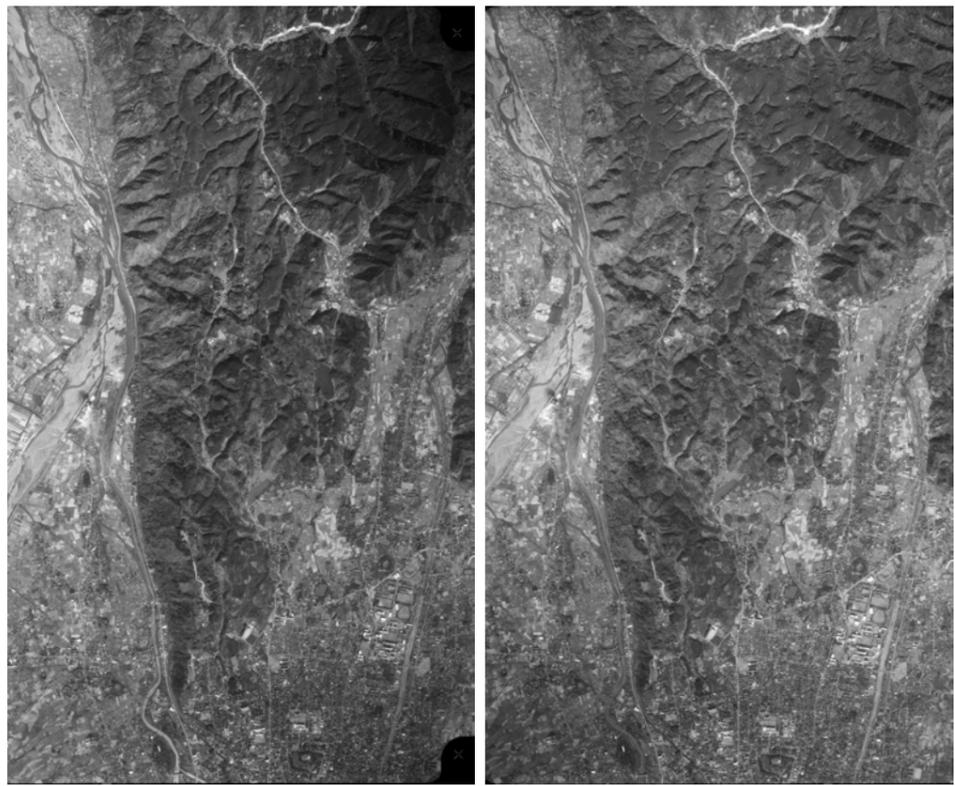
こども記者クラブ(信濃毎日新聞) 〒380-8546 長野市南県町657
TEL 026-236-3110 FAX 026-236-3193 電子メール t-chiiki@shinmai.co.jp

no.78

今年から、8月11日が祝日「山の日」になります。元旦のこども新聞特集は、「山を知って、山の恵みを感じる」をテーマにしました。読んでもらえたかな?新聞にのせきれなかった取材教室の様子をしょうかいします。

「山の日」元年

山にせまった!



ステレオ写真だよ
取材教室を開いた、松本市アルプス公園をふくむ山の写真です。朝日先生が作ってくれました。教室当日は非青メガネを使い、同じように飛び出す様子を見ました。

【ステレオ写真の見方】
2枚の間に下じきを置いたりして、右目で右の絵、左目で左の絵を見てね。おぼろかかったら、点を見ながらやってみてね。左の点は左目で、右の点は右目で、遠くを見るように見ます。点がぼんやりと3つに見えたら、上の写真を見ます。

朝日克彦先生
信州大山岳科学研究所の先生。山が大好きで、ヒマラヤの氷河や、北アルプスの残雪量などを調べ、気候変動との関係を探っています。槍ヶ岳の山小屋でも働いたそうです。



信州大山岳科学研究所・朝日克彦先生の教室では、山ができる様子を実験したり、山の高さを測量したりしました。

取材教室の場所
アルプス公園

アルプス公園に続く山から見える北アルプス



ハンドレベルをのぞいて自盛りを読みます



長い物差しを真すぐ持ちます



協力して測量した結果をまとめました



砂で山脈ができる様子を実験しました



朝日先生が隊の1人として、初登頂しました



ヒマラヤでの調査の様子

↑ヒマラヤでの食事

信毎こども新聞で1月、2つの大型企画の連載が始まりました。「縄文へ行こう」(毎月第2土曜日)と「火山を知ろう 火山を作ろう」(毎月第4土曜日)です。

縄文の企画は、北佐久郡御代田町の浅間縄文ミュージアム主任学芸員の堤隆さんが書きます。1万年以上も続いた縄文時代を、堤さんと“タイムスリップ”して見に行きます。



山の企画は、秋田大学教育文化学部教授の林信太郎さんが書きます。火山の知識といっしょに、楽しくておいしい「キッチン火山実験」を毎回紹介してもらいます。



堤先生、林先生に聞いてみたいことができれば、こども新聞編集部へ送ってね。